



国際ロータリー第2570地区

東松山むさしロータリークラブ

HIGASHIMATSUYAMA MUSASHI ROTARY CLUB



第 822 回例会 財団学友卓話 2012 年 11 月 15 日(木) 19 時点鐘ホテル紫雲閣 会長：宇津木 智・幹事：盛島美智子

いい風に乗ってロータリーライフを楽しもう！ 出席報告：出席 31 名 (MC 出席 3 名) 欠席 4 名 本日の出席率 80%



財団学友「田辺 信」君の卓話です。田辺君は国際キリスト教大学を卒業後、R財団国際親善奨学生としてカナダのトロント大学に留学しました。 地区財団副委員長(川越小江戸RC) 福山武朗様：R財団の未来の夢プロジェクトをよろしくお願いします。

留学先(トロント)について

- トロント大学 (The University of Toronto)
- オンタリオ州の州立大学
- 1850年建学
- インシュリンの発見
- 学生数：約7万人
- 学部生：5万5千人
- 大学院生：1万5千人




カナダのロータリークラブについて


- クラブ訪問





カナダのロータリークラブについて

受入地区：7070地区(オンタリオ州中部)
 受入クラブ：(公式)ノース・スカポロRC (非公式)トロント・ビーチRC
 顧問ロータリアン：Mr. Peter Masson



カナダ留学を通じて感じたこと

- 異文化を受け入れる国づくり
- ケベックという「他者」と共生することで、異文化を受け入れる素地を形成していったカナダ
- ロータリアンをはじめ多くのカナダ人が、世界を見聞し、多文化主義国家としてのアイデンティティを構築しようと努力している
- ただし、既存の地域社会のつながりが弱まっている中で、多文化主義が展開されているため、反発も多い。
- 地域社会の形成を促しつつ、「異文化の他者」を「地域の一員」へと変えていく努力が必要。

カナダ留学では、異文化を受け入れながら地域交流を図り、新たな地域文化を創造することを学びました。



平野貞美さん、病気を克服しての誕生日おめでとうございます。今日の花言葉レインボーフラワー「奇跡・無限の可能性」です。「今日は「ボジョレーヌーボー」解禁日、例会終了後おいしいワインを楽しむ会をレトロポップ食堂で開催し、おいしいワインを堪能しました。

ニコニコボックス報告：本日 21 名 金額 65,000 円 (前回まで 455,500 円) 累計 520,500 円 川越小江戸RC 福山武朗様：本日はお世話になります。 朝霞RC 田原一郎様：メーキャップに伺いました。 平野貞美：病気を克服して誕生日です、感謝！ 大澤幸吉：かみさんの誕生日にお花をありがとう！ 菊池朱己：今夜はボジョレーを飲みましょう。 横川堅司：先日は私の歓迎会、有難うございました。 川野今朝治：スリーデーは腰を痛めて参加できませんでした。 須田清美：寒くなりました、インフルエンザに気をつけましょう。 小藤恵美子：結婚記念日にケーキをありがとうございました。 その他 12 名、同じ内容で頂きました：宇津木 智・盛島美智子・大塚 轍・高橋昇・横塚元幸・吉田守男・吉田英三郎・山下茂・関口和裕・小久保佳・中村善博・野口健吉：財団副委員長の福山様、財団学友の田辺様、本日は卓話をよろしくお願い致します。

ニコニコ担当：大塚 轍・林 好久 会報委員：内山明夫・横塚元幸